

8月の行事予定

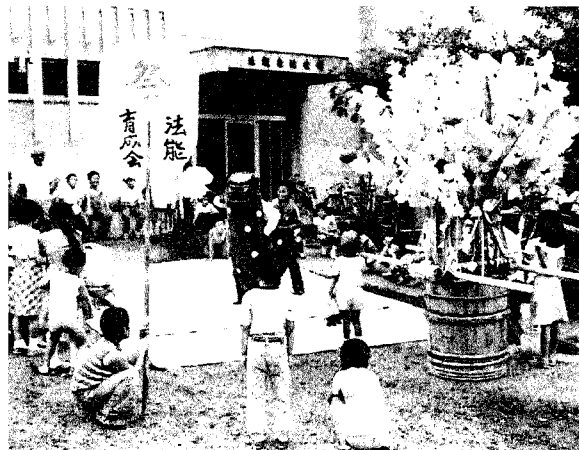
日(曜)	行 事 内 容	日(曜)	行 事 内 容
1日(土)	水泳教室(東桂小プール)～2日 道路をまもる月間(～31日)	14日(金)	愛のパトロール(市内一円)～15日
3日(月)	食品衛生週間(～9日)	17日(月)	発明相談(10:00～3:00) 第一会議室 広報委員会(1:00～3:00) 市長公室
4日(火)	水泳教室(谷一小プール)～7日	18日(火)	建設常任委員協議会
5日(水)	法律相談(第一会議室) 1:00～3:00 民生委員研修会(文化会館)	20日(木)	人権相談・行政相談(1:00～4:00) 第一会議室 山梨県市議会議長会七市親善野球大会(韮崎市)
7日(金)	総務常任委員協議会・第4回体育指導委員会 キャンプ講習会(グリーンロッジ)～9日 健康保険、厚生年金標準報酬基礎算定届説明会(文化会館)	21日(金)	第34回県体育祭り組合せ会議(県スポーツ会館)
10日(月)	経済常任委員協議会	24日(月)	昭和57年度工事予定箇所等市長現場視察 ～29日
12日(水)	不用犬・猫の巡回収集	25日(火)	社会保険出張相談(市民課)

ふるさとづくりコーナー

法能で二十年ぶりに「お天王さん」が復活

古くから子供たちの祭りとして親しまれてきた「お天王さん」はインドの祇園精舎の守護神で、素盞鳴尊(すさのおのみこと)と同神だと伝えられている牛頭天王(ごずてんのう)を祀ったものです。昔は、京都八坂神社の祭礼である祇園会(ぎおんえ)と時を同じくして七月の十七日から二十四日まで、八日間の長きに渡って行なわ

▲巡回の前にかぐらの舞



れ、別名を祇園祭とも呼んでいた。当時の風習によると、きゅうりの初物は「お天王さん」に供えた後に初めて食することが許され、また初物のきゅうりに子供の名前と年齢を書いて川に流すと、夏に水での事故がないと信じられていたそう。昭和三十年代前半までは、各集落単位で樽みこしを作り、各軒先をねり歩いては、ご祝儀を頂戴し、これを子供クラブなどの運営費に充てていたため

子供たちの間では、この祭が来るのを楽しみにしていたということ。ところが、時代が進み、物資が豊富になり、子供たちの連帯意識も希薄になるとともに、この祭も子供たちの興味をそそるものではなくなってしまう。今日では、この祭りを慣行しているところは数えるほどしかありません。

このような状況のなかで、子供たちの心の中に、連帯感呼び起し、さらには大人の心のなかにも、忘れかけ



▲楽しそうな子供たち

ていたふるさとの風習を再認識してもらおうと、法能自治会(志村久男自治会長)では、実に二十年ぶりに「お天王さん」の祭りを復活させました。お手製のおみこしは、麦殻の束を米俵でぐるんぐらに花飾りを施したほんとうに質素なものです。鳥居も前後に備えられて、製作者の心がこもっていました。

七月十五日夕方、志村自治会長をはじめ、育成会の関係者などが多数見守るなかで、いよいよ「お天王さん」のおみこしのご巡幸となりました。子供たちの多くは、初めてかつぐおみこしに興奮ぎみで、掛け声もときれがちでしたが慣れてくるに従って現代の子特有の物おじしな態度が戻り、はつらつとして「お天王さん」を楽しんでいました。古き良きものが失われつつある現代、このような伝統ある風習は、みんなの力で後世に伝えたいものです。